

わがまちに興味のある方はこちら！



各わがまち支えあい協議会では、毎月1回活動者が集まり、話し合いをしています。

身近な場所で行われている活動を知る機会になりますので、ぜひご参加ください。

文化センター圏域	名称・開催日時・会場・対象エリア
中央	「中央ささえあいの会」 対象エリア：八幡町、日吉町、宮町、寿町1・2丁目、府中町、天神町1・2丁目、宮西町1丁目、幸町1・2丁目、緑町、晴見町1・2丁目 1月10日(土) 13時00分～15時00分 会場…ふれあい会館
白糸台	「ささえあいの会 ～白糸台・若松町・清水が丘・小柳町～」 対象エリア：小柳町1・3丁目、清水が丘3丁目、白糸台(車返団地を除く)、若松町1・2丁目 1月19日(日) 13時30分～15時30分 会場…白糸台文化センター
西府	「にしふエリアささえ愛の会」 対象エリア：東芝町、西府町、日新町1～4丁目、本宿町、美好町(3丁目の一部) 1月9日(金) 13時30分～15時30分 会場…西府文化センター
武蔵台	「武蔵台・北山・西原ささえあいの会」 対象エリア：北山町、西原町、武蔵台 1月14日(土) 13時30分～15時30分 会場…武蔵台文化センター
新町	「新町ささえあいの会」 対象エリア：浅間町、天神町3・4丁目、幸町3丁目、新町、栄町、晴見町3・4丁目 1月13日(火) 13時30分～15時30分 会場…新町文化センター
住吉	「住吉・分梅・南町ささえあい協議会」 対象エリア：住吉町、分梅町2～5丁目、南町 1月6日(火) 10時00分～11時30分 会場…住吉文化センター
是政	「わがまち支えあいの会 ～小柳・是政・清水が丘エリア～」 対象エリア：小柳町2・4～6丁目、是政、清水が丘1・2丁目 1月21日(土) 9時30分～11時30分 会場…是政文化センター
紅葉丘	「わがまち ありすの会 ～朝日・多磨・紅葉・若松～」 対象エリア：多磨町、紅葉丘、朝日町、若松町3～5丁目 1月20日(火) 13時30分～15時30分 会場…紅葉丘文化センター
押立	「押立・車返ささえあい協議会」 対象エリア：押立町・車返団地 1月17日(土) 10時00分～12時00分 会場…押立文化センター
四谷	「ささえあい四谷」 対象エリア：日新町5丁目、四谷 1月17日(土) 13時30分～15時30分 会場…四谷公会堂(四谷4丁目6-8)
片町	「かたまち支えあいの会」 対象エリア：片町、寿町3丁目、日鋼町、分梅町1丁目、本町、宮西町2～5丁目、矢崎町、美好町(3丁目の一部を除く) 1月28日(土) 13時30分～15時30分 会場…片町文化センター

各わがまち支えあい協議会のホームページはこちらから▼



福祉施設や有償のボランティアに興味のある方はこちら

ボランティア・協力会員入門研修

ボランティアは無償、協力会員は1時間700円からの活動費が支払われる有償のボランティアです。

日時 ① 1月21日(水) 10:00～12:00
② 2月21日(土) 13:30～15:30

場所 いずれもふれあい会館1階
ボランティア活動室
(会場は変更になる場合があります。)

定員 12名



ボランティアと在宅福祉助け合い事業の協力会員、それぞれに登録ができます。協力会員の登録にあたっては、**印鑑・身分証・介護や保育の資格をお持ちの方は証明書のコピー**を受講時にご持参ください。

活動するまえにちょっと話を聞いてみたい方はこちら



社会福祉法人
府中市社会福祉協議会
地域活動推進課まちづくり推進係
TEL：042-364-5382
FAX：042-362-9090
メール：fuwari@fsyakyo.or.jp

https://www.fsyakyo.or.jp/
受付時間：月～土曜日(祝日・臨時休館日を除く)
午前8時30分～午後5時15分



明日からできる地域活動情報紙／

Connect

コネクト

ふちゅう

発行：社会福祉法人 府中市社会福祉協議会

2025
December

Vol.

10

Take Free

動く人がいる。
変わるまちがある。



活動インタビュー①

Activity interview

ちょっとしたことを
手伝ってもらいたい

ゆる～い生活支援
「ありすの手」



わがまちありすの会～朝日・多磨・紅葉・若松～

担い手の小林さん

小林：生活の中でちょっと困った時に、近所の人でできる30分ほどのお手伝いをしています。

Q2：どのような地域課題をきっかけに、活動が始まったのでしょうか。

小林：わがまち支えあい協議会の住民同士の話し合いの中で、色々な困りごとが出てきたけど、買い物に困る人が多いことに注目しました。買い物ができる場所が歩いて行ける範囲にないエリア。そこから実際に困っている人がどのくらいいるのかを調べるために、若杉会(シニアクラブ)にアンケート協力をしてもらいました。115人に配って、87人が答えてくれて、その中で買い物に不便を感じている人が63名もいました。最初は移動スーパーや買い物ツアーも検討したのだけど、なかなか前に進まなくて、買い物代行から始めました。ここが入口だったのかな。そのうちに、他の困りごとがあることにも気づき、色々なお手伝いをするようになりました。

Q3：活動の中では、どのような成果を感じられますか。

小林：ほんとにちょっとしたことを頼める仕組みはこれまで無かったのではないかと思います。こんな簡単なお手伝いで良かったのかなと思うけど、やっぱり「ありがとう」と言われると嬉しいです。それから、普段知らない方と話す機会ってないから、お手伝いをしながらお喋りができるのは楽しいですね。お手伝いからつながりができて、会の活動に参加してくれるようになった方もいます。この活動の後ろ盾には社協がいて、お手伝いに行く時も1人ではないし、相談しながらできるので、参加しやすいです。大きな責任があるような仕事ではないので気楽さもありますし、色々な方にやってみてほしいと思います。私自身も年を重ねてくると、「頼みたいなあ」と思うようなことが出てくるものだなと感じています。ちょっとした事で困ったら、気軽に相談してみたいです。上手に利用してもらえると、暮らしやすいまちになるなあと思っています。



活動インタビュー②

Activity interview

楽しみながら地域とつながれる
居場所がほしい

「みんなのつどいしらいと」



ささえあいの会 ～白糸台・若松町・清水が丘・小柳町～

担い手の榎本さん

榎本：「楽しく身体を動かすこと」をテーマとし、健康体操・手のひらパレー等を行っています。その他、夏にはスイカ割り、お正月にはかるたなど、季節の行事も取り入れています。

Q2：どのような地域課題をきっかけに、活動が始まったのでしょうか。

榎本：メンバーと地域で気になることについて話さず、「お子さんと関わる機会や交流がない」、「買い物途中やバス停でたずねている高齢者の姿が目立つ」といった声が挙がりました。一方で、「地域のつながりをつくるために何かしたい」「自分も楽しめたり、健康のためになる居場所をつくっていきたい」という前向きな意見も多くありました。そこから、お子さんや高齢者と顔見知りになれる居場所を作る動きにつながったように思います。

Q3：活動の中では、どのような成果を感じられますか。

榎本：「みんなのつどいしらいと」は今まで関わりのなかった方たちが知り合いになる場となっていると感じます。リピーターが多く、日にちを覚えて楽しみに来てくださっている方が多いです。近くにお住まいではなくても、「自分にはここが合っているんだ」と足を運んでくださる方もいます。最初は人と話しながらず、殻に閉じこもっていた方から、最近「体操だけでなくみんなで喋りたい」とリクエストいただくこともあり「楽しいわ」という声をいただくことが嬉しく、何より励みになります。世代を超えた交流の場にもなっています。公園内にある自治会館で開催しているので、公園で遊んでいる親子に声をかけて参加されることもあります。スイカ割りのイベント時には20名以上のお子さんが集まり、みんなで一緒に食べることで親近感がわき、つながることができました。「子どもたちを見ていると元気が出る」「刺激がもらえる」と参加者からの声もあります。これからも、地域と時代の移り変わりに合わせて、時には変化もさせながら、この居場所を続けていきたいと思っています。



「困りごと」を「地域の力」で解決！ ～わがまち支えあい協議会が始めた活動～



「わがまち支えあい協議会」のしくみ

身近な生活圏域の中で地域住民や様々な団体が地域の「困りごと」に気づき、それを我が事として共有し、協力して解決していくしくみです。活動が立ち上がるまでの一例をご紹介します。

